

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 7月 8日 更新

事務事業名	合志市総合計画進行管理事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	政策部	課長名 中村 誓丞
	施策	24	行財政改革の推進		所属課	企画課	担当者名 北里 利朗
	基本事業	83	計画的な施策・事業の推進		所属班	政策企画班	(内線) 1252
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 11	事業連番 11039	法令根拠	地方自治法第2条第4項
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	
成果優先度評価結果		②					
コスト削減優先度評価結果		①					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	総合計画において、政策体系の施策ごとに設定した目標値に対して、実績を把握し、評価を加えて計画の進行状況を管理する。その結果を次の予算や改善に結び付け、P-D-C-Aサイクルに基づく行政評価システムの仕組みを使った進行管理(行政経営)を行なう事業である。平成19年度に策定した第1期基本計画期間は平成20~22年度までの3年間であり、平成20年度から計画期間に入ったため、平成21年度から取り組んだものである。本事業は、平成18~19年度の総合計画策定事業を受け、平成20年度で行政評価システム構築事業として取り組んできた事業であり、計画策定とシステム構築が完了したため、平成21年度から(行政評価システムを活用した)総合計画進行管理事業に移行して実施していくこととした。
【業務の流れ】	①事務事業マネジメントシートの作成②実績値把握(市民意識調査の実施)③施策の目標達成度評価(施策マネジメントシートの作成)と貢献度評価の実施(行政経営推進部会)④総合政策審議会による施策評価⑤市議会による施策評価⇒「政策推進本部」⑥経営方針の策定⑦新規・拡充事務事業の事前評価⑧次年度の優先度評価⑨「予算の取り組み」を作成(施策統括部長と担当課長)⑩枠配分(政策推進本部)による検討会議後、予算の編成。
【主な予算費目】	旅費(研修旅費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・各担当によるシート作成から行政経営推進部会による貢献度評価等を経て、総合政策審議会や市議会による施策評価を受けた。 ・これらをふまえ、次年度にむけた経営方針の策定と予算編成作業への反映を行なった。	平成23年度から第2期基本計画進行管理事業に統合し実施するので、本事業は廃止する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
⇒ ① 進行管理のため各評価作業に参加した延べ人数	人 事業番号11319「第2期基本計画進行管理事業」への統合による減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民、市職員	(単位) 人
	⇒ ① 人口
	② 職員数
	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
総合計画の進み具合がわかる。基本計画の施策目標に対する実績と評価結果が把握できる。	(単位) 件
	⇒ ① 行政評価システムに関するホームページへのアクセス件数
	② 行政評価システムについて理解していると答えた職員の割合 %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 行政評価システムに関するホームページへのアクセス件数によって、総合計画の進み具合を市民が理解しようとしている状況を把握できると考えた。また、職員アンケートにおける「行政評価システムについて理解していると答えた職員の割合」を見ることで、市職員が基本計画の施策目標に対する実績及び評価結果を把握できているかを推測できると考えた。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	人	1,373	1,046	900	828	0	0	0
	イ								
	合計								
② 対象指標	ア	人	54,407	54,856	55,732	55,828	0	0	0
	イ	人	334	324	324	322	0	0	0
	合計								
③ 成果指標	ア	件	18,069	19,654	25,000	24,574	0	0	0
	イ	%	60.2	69.8	71	65.6	0	0	0
	合計								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円				3		
		繰入金	千円						
	(A) 事業費計	一般財源	千円		247	132	100		
		(A) 事業費計	千円	0	247	132	103	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	6	3	26	4	0	0	
	延べ業務時間	時間	110	758	1,000	827	0	0	
	(B) 人件費計	千円	440	3,016	3,980	3,407	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	440	3,263	4,112	3,510	0	0		

総トータルコスト  
全体計画  
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	合志市総合計画進行管理事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)   
 \*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 達成できなかったが、前年比で約5,000件もアクセス件数が増えた。
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 第2期基本計画進行管理事業に統合し本事業は終了する。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 第2期基本計画進行管理事業に統合し本事業は終了する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 平成23年度から第2期基本計画進行管理事業に統合する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 第2期基本計画進行管理事業に統合し本事業は終了する。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 第2期基本計画進行管理事業に統合し本事業は終了する。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 第2期基本計画進行管理事業に統合し本事業は終了する。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 第2期基本計画進行管理事業に統合し本事業は終了する。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

総合計画と連動した行政評価システムの構築として取り組んできた。それによって、システムが構築されるとともに、実際の評価に加え進行管理を始めることとなる。これらは、計画の進行度合いのみが把握できるだけでなく、行政評価システムで取り組む作業自体が行政の動き、運営(=経営)そのものである。実績としての決算が、次の予算につながっていく過程をまちづくりの課題である施策ごとに明らかにし、市民の代表としての総合政策審議会や市議会の決算審査に伴う意見等を基に、いかに次の予算や取り組みの改善につなげていけるかが見えるようになった。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>平成23年度から第2期基本計画進行管理事業に統合し、改善を進める。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						